

Kenneth Blum, B.Sc., M.Sc., PhD, DHL

チーフ・サイエンティフィック・オフィサー&会長

Kenneth Blum 博士は、**New York Medical College** から神経薬理学の博士号を取得し、**Columbia University** と **New Jersey** 医科大学を卒業しました。コロラド州ボルダーのコロラド大学行動遺伝学研究所で訓練を受けました。彼はまた、**St Martins** 大学から文学の名誉学位を受けました。彼は **550** 以上の抄録、査読済みの記事および書籍を出版しています。(17)。彼は依存症医学におけるライフタイム達成（依存症研究に関するホリスティック・インスティテュート）を含む多くの助成金と賞を受賞しています。マーキュリー・オブ・ライフ・オブ・ライフ・タイム・アチーブメント賞、科学優秀大統領賞（全米アルコール・薬物乱用評議員会）、科学功績賞（マイアミ市）、ベスト・アブストラクト（2012年）賞 **ASRA**（疼痛） **Path Foundation Lifetime Achievement Award**（2014年）、名誉教授（**Eötvös Loránd University**、ハンガリー・ブダペスト、心理学研究所、ハンガリー）、および米国依存症医学会ミレニアム・ラボラトリー賞などがあります。彼は "**Reward Deficiency Syndrome**"（報酬欠陥症候群）を発表し、1995年に **Microsoft Dictionary, Gates Scientific** の辞書と **SAGE Encyclopedia of Abnormal Psychology**（2017）に掲載されました。

現在は報酬欠陥症候群および依存症科学誌編集責任者、**Journal of Systems & Integrated Neuroscience** の編集責任者、**Journal of Addiction & Recovery** の編集責任者。精神医学と神経学の **Neuroimaging**、および 18 の他の科学雑誌の編集委員会に所属します。ドーパミン作動性遺伝子と重度のアルコール依存症との最初の遺伝的関連の主著者として、彼は「精神医学の父」とされています。彼はニュートリジェノミックスを含む多くの米国および外国特許の所有者でもあります。 **Blum** 博士は、**Mark Gold**（セントルイス）と **Philip Gorwood**（パリ）と一緒に、**Editor-In Chief** に任命されています。特集：報酬欠陥症候群 (**RDS**) について **Blum** 博士は、フロリダ大学医学部の **McKnight Brain Institute** とバーモント大学の精神科のボランティア教授です。

彼は、南カリフォルニア大学医学部の **Keck** 医科大学精神医学・行動科学科の副専攻教授であり、オハイオ州デイトン医科大学のブーンショフ大学医学部精神科の副専任教授でもあります。 **Dominion Diagnostics**（チーフサイエンティフィックアドバイザー）、**Path Foundation NY**（科学ディレクター）、**Victory Nutrition**、**Impact Genomics**、**Shores Treatment & Recovery Center**（神経科学アドバイザー）、**Nupathway** など、多くの企業や基盤の神経科学顧問としても活躍しています。現在、テキサス州サンアントニオの **Geneus Health** のチーフ

フ・サイエンティフィック・オフィサーであり理事長を務めています。彼は応用ゲノミクス・バイオテクノロジー研究所（インド、ナグプール）の名誉教授です。世界中の大手メディア・アウトレットが依存症に関する研究を行っています。現在、ユナイテッドサイエンスグループ（USG）の創業理事を務めています。Blum 博士は、Geneus Health と共同で初めての Genetic Addiction Risk Score (GARS) に取り組んでいます。彼は Sober World と Addiction Professional の雑誌に頻繁に寄稿しています。Merlene Miller と David Miller と共に賞を受賞した本「**Staying Clean and Sober/クリーンにしらふで生きるために**（遠藤光政 監訳）」を出版しました。彼は、RDS と遺伝学の洞察のための世界的な基盤を探究しています。彼は、科学、自然、ランセット、JAMA/JAMA 精神医学、PNAS、Plus One、Oncotarget、Cureus を含む多くの有名な雑誌、世界のほぼすべての主要ピアレビュージャーナルに掲載されています。彼の作品は、ハーバード・レビューだけでなく、世界中の主要な新聞、雑誌、テレビでも紹介されています。彼は実際にパーソナライズド依存症医学のための遺伝子検査と相まって、ドーパミンホメオスタシスを誘導する Pro-Dopamine Regulation を開発する Reward Deficiency Syndrome のためのアミノ酸療法の父です。彼はまた、元上席会長を含む膨大なビジネス経験を持っています。最近では、ハーワード大学とナショナル・ヒューマン・ゲノム・センター（NHGC）とともに、アフリカ系アメリカ人の GARS とプロドパミンの両方の規制に関連して、NIH からの助成金の主任研究員を務めています。彼は National Whole Genome Science Foundation の取締役会に指名されています。